

加古川平成ロータリークラブ
会長 原田 悟
幹事 高田 裕美
公共イメージ委員長 網本 徹
2680 地区ガバナー 城 守

**UNITE
FOR
GOOD**

例会日/毎金曜日 18:00~19:00・例会場/加古川プラザホテル
事務局/加古川市加古川町溝之口 800 加古川商工会議所会館
Tel. 079-422-8000 FAX. 079-422-8100
ホームページ <http://www.k-heisei-rc.com/> Eメール heiseirc@basil.ocn.ne.jp

2025~2026 年度 RI 会長 フランチェスコ・アレッツォ

No. 1617 February 6、2026

例会プログラム

第 20 回(2 月 6 日)

「新入会員自己紹介と
林会員の卓話」

例会当番 宮宅

次週例会プログラム

(2 月 13 日)

2 月 14 日(土) に変更

「東播第 2 グループ I.M.」

於 ; 加古川プラザホテル

次週例会当番 山本

前週例会報告

◇ ゲスト

◇ ビジター

◇ 出席率 先週 会員数 17 名 出席数 9 名 出席免除 2 名 欠席数 6 名
先々週 会員数 17 名 出席数 9 名 出席免除 2 名 欠席数 5 名

◇ 欠席者 6 名 岡田 榊 鈴木 高田 高松 山本

◇ メークアップ 2026 年 1 月 17 日 第 4 回同期会勉強会および新年会 林



★ 職場移動例会

於 ; 滝寺荘にて例会・昼食

2026. 1. 21 (水)

RIテーマ よいことのために手を取りあおう

- ① 回覧します
 - ・中津平成ロータリークラブ週報
 - ・職場移動例会会計報告
 - ・熊本平成ロータリークラブ週報
- ② Box に月信、ロータリーの友、「抜粋のつどりその八十五」(東京RC海員熊平雅人氏より)、(公財)ロータリー日本財団の確定申告用の領収書、米山記念奨学会の確定申告用の領収書(普通寄付・特別寄付)を入れております。
- ③ 次週13日(金)の例会は、14日(土)14時半～受付「2025-26年度東播第2グループI.M.」となっております。お間違いないようお願いいたします。

SONG TODAY

幸せなら手をたたこう

作詞：木村利人(作詞)・作曲； アメリカ民謡

幸せなら手をたたこう

幸せなら手をたたこう

幸せなら態度でしめそうよ

ほらみんなで手をたたこう



★ 職場移動例会

於；パナソニックエコテクノロジー株式会社

2026. 1. 21(水)



インドの不動産開発業者、ロータリー財団に 5,000 万米ドルを寄付

文 : Etelka Lehoczky

「寄付は義務」と語る長年のロータリー会員ラビシャンカール・ダコジュさん（バンガロール・ロータリークラブ所属）が、同じクラブの会員である妻パオラさんとともに、ロータリー財団に約 5,000 万米ドル（約 78 億円）の寄付を誓約しました。この発表は、1 月 13 日、米国フロリダ州オーランドで開催中の国際協議会で行われました。

ダコジュさんはこう語りました。「何年も前、パオラと私はこう夢見ていました。『いつか、余裕をもって暮らせるだけの財産ができれば、その 85%を社会に還元しよう』と。その日がついに来たのです」

アジア担当のロータリー財団アーチ・克蘭フ・ソサエティ・アンバサダーを務めるダコジュさんは、「慈善は人としての義務」という信念について語り、財産を社会に還元することに至った決意を説明しました。

「手元の財産は家族のためだけのものですが、ロータリー財団への寄付は人類全体のためになります」とダコジュさん。



2026年国際協議会のステージに立つラビシャンカール・ダコジュさんと妻パオラさん。ロータリー財団に約 5,000 万米ドル（約 78 億円）を寄付することを発表しました。2026 年 1 月 13 日、米国フロリダ州オーランドにて。

撮影 : Monika Lozinska

写真提供・著作権 : Rotary International

自身の人生経験が慈善への決意につながった経緯についても語りました。彼の父親は、家族の土地をすべて貧しい農民に分け与えましたが、ダコジュさんが 10 歳のときに急逝。母と 6 人の兄弟姉妹に残された財産は、銀行口座にあったわずか 2 米ドルでした。学業成績は悪く、非行に走り、ストリートギャングのリーダーになったこともありましたが、大学を卒業し、やがて Hara Housing & Land Development 社を共同設立。現在は、バンガロールを代表する不動産開発企業の一つに成長しました。

その後、ロータリーと出会った彼は、友情と奉仕というロータリーの価値観に共感し、事業が成長するにつれてロータリー財団を支援するようになりました。2018 年には、約 1,470 万米ドル（約 23 億円）を財団に寄付することを誓約し、これは財団史上、最も多額の寄付の一つとなりました。

「私がこれまで成し遂げてきたことは、人びとの親切、人生の恵み、そしてロータリーが私にもたらしてくれた機会のおかげです」とダコジュさんは語ります。

地区でのグローバル補助金やそのほかのプログラムにも資金を提供し、数多くの奉仕プロジェクトに取り組んできました。昨年 8 月には、環境と教育のための基金を設立したインド国内の各地区に対し、最大 5 万米ドルの寄付を上乗せすることを約束しました。また、カルナータカ州で 1,000 万本の苗木を植える 5 年間のプロジェクトにも参加しました。

国際協議会でスピーチしたダコジュさんは、ロータリーへのコミットメントと自身の「与える哲学」とのつながりを強調しました。

「ロータリーは私に新しい人生、新しい目的、新しい友人、新しい意味、そしてグローバルな家族を与えてくれました『自分ができると思う以上に与えれば、想像以上のものが返ってくる』という美しい真理を、人生が教えてくれたのです」

榊会員、井上会員 パキスタンでのポリオ接種活動報告!!



ご参加の皆様、お疲れさまでした
世界の子供たちの未来が
明るい世の中になりますように